

令和元年11月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 工 藤 知 彦

市 民 ク ラ ブ 工 藤 新 一

フロンティア秋田 藤 田 信

公 明 党 牧 野 守

共 産 党 奈 良 順 子

そ う せ い 小 松 健

秋 水 会 伊 藤 一 榮

秋 水 会 熊 谷 重 隆

秋 水 会 小 木 田 喜 美 雄

1 新・県都『あきた』成長プラン及び秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

- (1) 同プランに掲げている数値目標及び同戦略に掲げている重要業績評価指標（K P I）等の進捗状況はどうか
- (2) 同プランに掲げている指標及び同戦略に掲げているK P I等に対する実績をどう評価しているのか
- (3) 同プラン及び同戦略の計画期間の最終年度を迎えるに当たり、どのような施策・事業に重点を置いて取り組んでいくのか

2 令和2年度当初予算について

- (1) 予算編成に当たっての基本的な考え方について
 - ア 将来にわたり持続可能な財政構造を構築するためには、何が必要だと考えているのか
 - イ 新規財源の確保に向けた取り組みは何か
- (2) 財政調整基金及び減債基金の取り崩し額は、社会保障関係経費の増加などの影響がある中でも10億円にとどめることは可能なのか

3 イージス・アショアの配備について

- (1) 他の国有地への配備の可能性を示唆するような防衛大臣、内閣官房長官及び知事による一連の発言を市長はどのように受けとめているのか
- (2) 防衛大臣に対する申し入れは、いつごろ、どのような内容で行う予定なのか

4 インバウンド誘客の促進について

- (1) 誘客促進に向けた本市の考え方はどうか、また、今後、どのような取り組みを考えているのか
- (2) ウェブサイトやSNSのさらなる活用など、積極的に進めていくべ

きではないか

5 治山治水への取り組みについて

- (1) 現在の洪水ハザードマップにおける浸水想定区域は、雄物川の築堤整備による流量変化、水位上昇に伴うバックウオーター及び内水はんらんを見込んだものになっているのか
- (2) バックウオーター等による浸水が想定されるのであれば、支川の護岸かさ上げや河道しゅんせつも進めていく必要があると思うがどうか
- (3) 森林が持つ災害防止、国土保全機能の観点から、森林環境譲与税をどのように活用し、森林の整備を進めていくのか

6 幼児教育・保育の無償化の実施に伴う副食費等の助成について

- (1) 副食費について、東北の県庁所在市及び県内市町村の助成状況はどうか
- (2) 副食費の助成も含め、子育て施策全体のバランスを考慮した実効性のある取り組みの検討状況はどうか

7 (仮称) 秋田市文化創造交流館について

- (1) コンクリート躯体の不良等により改修工事の進捗がおくれているが、このような状況は事前に想定できなかつたのか
- (2) 来年秋に予定している開館に向け、今後どのように対応していくのか

8 地域の諸課題について

- (1) 秋田市雄和ふるさと温泉「ユアシス」について、段階的な全面改装を行う考えはないか
- (2) 秋田市雄和サイクリングターミナルの宿泊業務を再開する考えはないか
- (3) 雄和地域における光回線未整備地区への光回線の整備、携帯電話不感地帯解消を事業者に働きかけ、情報格差の是正を図る考えはないか

- 1 児童生徒を取り巻く情報社会等への行政としての向き合い方について
 - (1) ネット社会の中で児童生徒を守るためには、注意喚起だけでは対応できなくなってきたが、今の情報社会をどのように受けとめ、今後、どう対応していくのか
 - (2) 行政が都市計画など一定の法令に基づいて設置した施設などが、児童生徒にとっての危険因子となったとき、法令に固執することなく、危険因子の除去を優先すべきと考えるがどうか
 - (3) 自治会から出された不審者対策としての街路樹の除去要望に対して、警察などと連携した上でも注意喚起にとどめ、住民要望にこたえなかった理由は何か、また、街路樹が不安・危険だと感じている要因に対し、どのように部局間の連携をとり、注意喚起と判断したのか

- 2 幼児へのフッ化物塗布事業について
 - (1) 1歳児の塗布体験を行った人数はどの程度か、また、1歳児全体の中で体験者の割合はどの程度か
 - (2) 2歳児から5歳児までの対象者において、塗布券の使用率はそれぞれどれくらいか
 - (3) 幼児に対するフッ化物使用の予防事業を見直す考えはないか

- 3 古川流域の総合的な治水対策について
 - (1) 現時点の進捗状況と今後の方向性はどうか
 - (2) 関係する河川を含めはらん地域の自治会に、現時点における進捗状況を説明する考えはないか

- 4 災害時の住民避難について
 - (1) 自助は、そのすべてを個人的判断ではできないことから、それを支援するものは何か
 - (2) 自主防災組織など人と人とがかかわる体制について、現時点におけ

る認識と今後の体制のあり方についてどう考えているのか

- (3) 公助のあり方について、現状に対する認識と今後についての考え方を示す必要があると思うがどうか、また、地域拠点となる市民サービスセンターの公助の役割に対する現状認識はどうか、さらに、その役割を検証し、今後、より機能が発揮できるよう改善すべきと思うがどうか

5 油谷これくしょん活用推進事業について

- (1) N P O 法人油谷これくしょんに対する業務委託において、当初約500万円からスタートし、現在700万円を超える支出になっているが、委託内容はどのようになっているのか、また、同法人への支援策として考えた場合、通常では考えられないほどの額が継続支出され、さらに、増額されている理由は何か
- (2) 毎年提出されている事業報告は、契約内容を満たすものとなっているのか
- (3) 寄贈を受けてから既に7年が経過し、この間、同法人は、同これくしょんの情報発信、観覧に必要な分類・整理をし続けているが、そもそも分類・整理は一定の年月を決めて計画的に行われるべきであり、その計画実行の上で、さらに事業内容を精査し、業務委託費等を検討することが通常の業務委託のあり方と考えるがどうか

6 「種蒔く人」創刊100周年について

- (1) 「種蒔く人」創刊100周年に際して、どのような事業をする考えがあるのか
- (2) 民間団体において100周年記念事業が準備されているが、どのような支援が可能か

7 千秋公園のハスのさらなる利活用とまちづくりについて

- (1) J R 秋田駅からつながる仲小路や広小路にある商店や空き店舗前などにハスを置き、手にとったり、香りを楽しむなど、より身近な場所

でハスの魅力を感じてもらい、千秋公園に隣接する場所をハスゾーンとして一体感のある環境となるようにしてはどうか、また、そのハスの管理は、NPO法人のノウハウを受けて、管理を希望する市民に依頼することは可能と思うがどうか

8 秋田市公式ホームページの検索機能等の改善について

- (1) 同ホームページの検索機能の向上と、市民が必要とする情報が一目でわかるように改善が必要と思うが、どのように受けとめ、どう対応するのか

1 人生100年時代の健康づくりと疾病・介護の予防について

(1) 本年6月に閣議決定された成長戦略実行計画に定める、疾病予防の位置づけを高めるための保険者努力支援制度の抜本的な強化及び介護予防の位置づけを高めるための保険者機能強化推進交付金の抜本的な強化に対して、どのように対応するのか

(2) 新・県都『あきた』成長プランの施策「保健・医療体制の充実」の指標「がんの75歳未満の年齢調整死亡率（人口10万対）」の目標達成が難しい状況にあるが、平成28年度から実施している自己負担割引制度など、がん検診を受診しやすい環境づくりの成果をどう評価しているのか

(3) 早期発見・早期治療によりがん死亡率を改善するため、民間企業やNPOと連携して、がん検診の啓発や受診率の向上に取り組む考えはないか

(4) 第2次健康あきた市21について

ア 同計画の中間評価において、目標の見直しを行い、国民健康保険の特定健康診査受診率を下方修正しているが、ヘルスケアポイントなど個人のインセンティブ付与や健診の利便性向上につながる取り組みにより、生活習慣病予防を推進することはできないか

イ 同計画の中間評価では、65歳未満の年齢層において、睡眠を十分にとれていない人の割合が悪化しているが、質のよい睡眠のとり方に加え、昼寝など短い時間で休養できる方法を推奨することも有効と考えるがどうか

2 自転車活用の推進について

(1) 市民の健康増進や医療費の削減、環境負荷の低減、中心市街地のにぎわい創出、災害時の機動性の確保など、さまざまなメリットが考えられる自転車の活用について、どう考えているのか、また、交通手段としての自転車の位置づけが低すぎるのではないかと

- (2) 自転車の活用を総合的かつ計画的に進めるため、自転車活用推進法第11条に定める市町村自転車活用推進計画について、他都市の取り組みも参考にしながら、早急に策定すべきではないか
- (3) 自転車の安全利用に関する条例の制定や保険会社等との連携により、自転車事故に関する損害賠償責任保険への加入促進を図る考えはないか
- (4) 自転車道、自転車専用通行帯及び矢羽根型路面表示（自転車ナビライン）により自転車の通行空間を確保するとともに、自転車利用の安全性の確保と快適性・迅速性を向上させるため、関係機関と連携して自転車ネットワーク計画を策定すべきではないか
- (5) 5キロメートル未満の短距離帯での利用が約4割を占める自動車利用を自転車利用に転換するための意識啓発が必要と考えるがどうか
- (6) コミュニティサイクル導入の検討状況はどうか、また、民間企業の活用や交通系ICカードによる利用は検討しているのか
- (7) 自転車通勤は、通勤手当の削減や従業員の生産性向上といったメリットがあることから、市内企業に対して自転車通勤制度の導入を働きかけるとともに、制度設計の支援をしていく考えはないか
- (8) 高齢者の自動車運転免許証の返納を促進するとともに、返納後の引きこもりを予防するため、返納前からの自転車併用利用の啓発や高齢者向け自転車交通安全教室の開催、高齢者の特性に合った自転車の紹介などが必要と考えるがどうか

3 小・中学校の適正配置と通学区域の見直しについて

- (1) 小・中学校の適正配置を進めるに当たり、通学区域の見直しの要否をどう考えているのか、また、どのような場合に見直しが必要になると想定しているのか
- (2) 各地域ブロック協議会において、積極的に通学区域の見直しを議題とし、要否を確認すべきではないか

4 教員の働き方改革について

- (1) 本年4月に策定した秋田市立小・中学校における多忙化防止計画による取り組みについて、現段階における効果はどうか
- (2) 持ち帰り仕事の実態を把握しているのか、また、勤務時間管理の徹底により、持ち帰り仕事の増加や、早朝出勤が発生する可能性はないのか
- (3) 昨年度から配置したスクール・サポート・スタッフや今年度から配置している部活動指導員による多忙化防止の効果はどうか
- (4) 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法について、1年単位の変形労働時間制を適用できる改正案が国会で審議されているが、可決された場合にどのように対応するのか

5 児童生徒の安全確保について

- (1) 登下校時の安全確保について、地域全体で子供を見守る体制強化の取り組み状況はどうか
- (2) 帰宅後や長期休業中の外出時の安全確保について、防犯ブザー所持を推奨する取り組みの検討状況はどうか
- (3) ICTを活用した児童生徒の見守りシステム導入の調査・研究の状況はどうか、また、前向きに導入を検討すべきではないか

6 旧秋田藩主佐竹氏別邸（如斯亭）庭園の活用について

- (1) 昨年度に比べ、入園者が減少している現状をどうとらえているのか
- (2) 鬺信寺や天徳寺など、近隣の旧秋田藩主佐竹氏ゆかりの文化財を結びつけた周遊コースや文化財めぐりウォーキングコースなどを設定し、旅行情報誌や旅行会社へツアー企画を提案するなど、より一層のPRに力を入れるべきではないか
- (3) 近隣の温泉宿泊施設との連携により、宿泊客の入園を促すことはできないか
- (4) リーフレットや園内案内板への外国語表記、音声翻訳機の活用など外国人旅行者向けのサービスを充実させる考えはないか

7 地域の諸課題について

- (1) 中国蘭州市との友好提携を記念して建てられた一つ森公園の友誼亭は、建築後30年が経過し、損傷が見られることから、修復整備を行うべきではないか

1 少子化対策について

(1) 秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標である「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」及び「安定した雇用を創出する」に関する数値目標についての進捗状況はどうか、また、取り組みの成果をどのように評価し、来年度はどう取り組むのか

2 高齢ドライバーへの支援策について

(1) 高齢者の運転に伴う痛ましい交通事故が全国的に後を絶たないことから、高齢者に自動車運転免許証の自主返納を推進し、返納者にはバスのフリーパスの交付など支援策を講じるべきと考えるがどうか

3 公共交通の整備について

- (1) マイタウン・バスを利用できない公共交通の空白地域が存在するが、当該地域における今後の対応をどのように考えているのか
- (2) ICTを生かし、スマートシティとして自動運転バスの実証実験に本市も参画すべきと考えるがどうか

4 空き家対策について

- (1) 危険等により相談のあった空き家について、所有者や相続人と連絡をとった上で実態把握をすべきと思うがどうか
- (2) 相続放棄された危険な空き家の除却について、どのような対応をしているのか

5 引きこもり支援について

(1) 引きこもりに関する情報の集約及び支援のあり方の検討についての進捗状況はどうか

6 成年後見制度について

(1) 成年後見制度への理解を広げるため、福祉関係者や市民向けの講習会の開催など積極的な啓発活動が必要と思うがどうか

7 がん検診と感染症に対する取り組みについて

(1) がん検診は重要と認識しているが、受診率向上に資する抜本的な強化策はないのか

(2) 高齢者の肺炎球菌ワクチンの定期接種について経過措置が2023年度まで延長となったが、国のさらなる接種率向上の意向を受け、本市におけるさらなる取り組みについての考え方及び具体的方法はどうか

(3) B型肝炎・C型肝炎は国内最大の感染症と言われているが、同感染症の予防に関する取り組みはどうか

8 防災・減災について

(1) 防災対策の策定については、健常者の考えだけでは健常者中心の対策になりがちと思われるが、障がい者等の視点も必要であり、本市の防災対策にどのように反映されているのか

(2) ハザードマップによって自宅や職場の危険度を知り、いざというときに適切な避難行動ができるようマイ・タイムラインの作成を推進すべきと思うがどうか

(3) 台風19号による東日本を中心とした広い範囲での甚大な被害を教訓とし、水害に備えた業務継続計画の作成が必要と思うがどうか

(4) 近年、短時間での集中豪雨が発生し治水が追いつかず水害に遭うことがあるが、自助のため各市民サービスセンターに土のう等の常備が必要と思うがどうか

(5) 液体ミルクは調乳の手間が要らず常温のままでも授乳が可能であり、災害時の避難所における活用が期待されていることから、本市においても備蓄品に加える考えはないか

1 平和行政について

- (1) 非核平和都市宣言や日本最後の空襲があった秋田市の市長として、平和行政についてどう考えているのか
- (2) 日本国憲法前文や第9条、第13条の趣旨からしても、イージス・アショアの陸上自衛隊新屋演習場への配備には、秋田市長としてきっぱりと反対の意思を表明するべきではないか
- (3) 次世代に平和の大切さを引き継ぐためにも、市として土崎空襲を語り継ぐ市民の活動の広報に努めたり、後継者の育成などに支援するべきではないか

2 消費税増税に伴う市民生活への影響について

- (1) 消費税増税後の市民生活に配慮して、増税に伴い引き上げた本市の手数料や使用料などについて見直す考えはないか
- (2) 学校給食費や幼稚園・保育所の副食費など、保護者の負担をふやさないための努力をすべきではないか

3 教育行政について

- (1) 学校の安心・安全な教育環境整備について
 - ア 市長が「次世代に元気な秋田市を引き継ぐ」ことを目指しているのであれば、次世代を担っていく今の子供たちが、健康で安心して学習できる環境整備にこそ、予算を大きく配分するべきではないか
 - イ 全国から大きく立ちおくられている小中学校のエアコン設置率を、市長としてどう考えているのか、また、設置率を全国平均に近づけるための市長としての見通しはどうか
- (2) 全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）の結果に縛られない教育について
 - ア 自校採点結果の集約・公表など、同調査の結果を比較して学校同士の競争をあおるような方法ではなく、子供たちの豊かな成長を保

障できるような教育施策の推進に力を入れていくべきではないか

(3) 小・中学校の適正配置について

ア 適正配置の名のもとに、学校の統廃合が加速度的に進むことによって、地域の衰退に拍車がかかるのではないか

イ 学校の適正規模は、12学級から18学級と秋田市小・中学校適正配置基本方針で断定しているが、この数字に教育学上の根拠があるのか

ウ 学校の統廃合は、地域に情報を十分提供した上で、住民の意見を広範に聞き取り、その合意なしに計画を進めることはないということを明確に周知するべきではないか

エ そのうち統合するからという理由で、教室のエアコン設置や校舎の雨漏り改善、トイレの洋式化などの教育環境整備が後回しになっているようなことはないのか

(4) 秋田市立小・中学校における多忙化防止計画等について

ア 同計画の中に「これまでの慣例や常識を見直し」とあるが、教職員から負担が大きいと訴えが出ている秋田市単独の一斉テスト、キャリアノート、集団フッ化物洗口などを見直すべきではないか

イ 教職員の長時間・過密労働を改善するために、教育委員会では、多忙化防止対策の進捗状況、時間外勤務の把握と労働安全衛生法に基づいたメンタルヘルス対策、パワーハラスメントの有無などの正確な状況を把握するべきではないか

ウ 同計画の策定だけではなく、産業医や現場の実態に詳しい教職員組合側のメンバーを加えた総括的な労働安全衛生委員会を設置するべきではないか

エ 小学校の英語教育必修化に伴う教員の負担を軽減するために、英語教員を市単独で採用してはどうか

オ 教育長は、教員の変形労働時間制導入についてどう考えているのか

4 高すぎる国民健康保険税の減額について

- (1) 国民健康保険事業財政調整基金や繰越金、一般財源などを使い、国税の減額を進めるべきではないか
- (2) 子育て世帯支援のために、18歳以下の子供の均等割廃止や大幅な負担軽減などを図るべきではないか

5 公共交通の整備について

- (1) 住民の高齢化や自動車運転免許証自主返納者の急速な増加を踏まえ、路線バスの増便や路線拡大を図るよう事業者へ働きかけるほか、市としてさらなる支援をしてはどうか
- (2) 秋田市地域公共交通協議会は、各ブロックごとに協議会を置き、地域の実態を的確に把握し、要望が反映されるシステムに変更するべきではないか

6 地域の諸課題について

- (1) 新城川・馬踏川の河川改修事業を年次計画で進めているが、現在までの進捗状況と今後の見通しはどうか、また、地域住民への説明はどうか
- (2) 追分駅東地区周辺の浸水被害に対して、どのような対策を進めているのか

1 挑戦する市政について

(1) 文化力による未来づくりについて

ア 市政推進における文化力の概念をどのようにとらえているのか、
また、間近に迫った新文化芸術施設の誕生を、文化力による本市の
未来づくりへの挑戦の好機としてとらえたいが、認識はどうか

イ 本市のこれからの文化行政におけるガバナンスとマネジメントに
ついて

(ア) これからの文化行政は、どのような理念、方針及び体制によっ
て進められるのか

(イ) 芸術文化ゾーンにおけるエリアマネジメントは、どうあるべき
と考えているのか

(ウ) 文化芸術資源の活用によるブランディング戦略は、どうあるべ
きと考えているのか

(エ) 文化芸術資源の活用による地域経済の活性化に向けて、どのよ
うに取り組んでいくのか

(オ) 市民一人一人が文化芸術の創造・発展・継承の担い手であるこ
とを認識し、主体的かつ積極的に文化芸術活動を実践しようとする
機運の醸成に向けて、どのように取り組んでいくのか

(カ) 文化芸術立市または創造都市の実現などの高い目標を掲げ、そ
の達成に向けて市を挙げて挑戦してはどうか

(キ) 学校教育における文化芸術活動の充実を図るため、今後注力す
べき取り組みは何か、また、独自性・先進性のある「秋田型文化
芸術創造学習」とも言える新たな学習活動の仕組みを教育委員会
と新文化芸術施設と協働でつくり出し、市内の小中学校を対象と
して実施してはどうか

(2) 県都の再生について

ア 県都秋田の魅力ある「“顔”」づくりに向けた第2期秋田市中心
市街地活性化基本計画の進捗状況並びに今後のハード及びソフト両

面における取り組みはどうか

(3) 防災・減災都市づくりについて

ア 台風19号など、本年10月に相次いだ豪雨災害に対する危機管理の教訓を共有する観点において、だれもが安心して暮らせる防災・減災都市づくりに向けて、本市が取り組むべき急務とは何か

(4) 市民力の発揮による地域共生社会の実現について

- ア 地域共生社会の実現に向けて取り組む上での主要な課題は何か
イ 秋田市地域福祉計画の着実かつ効果的な推進を図るため、どのようなガバナンス体制を築いているのか
ウ 都市内地域分権組織との重層的なガバナンス体制を構築し、福祉区としての機能を加味しながら地域共生社会の実現に挑戦してはどうか

(5) 民間活力の活用等による地域経済の活性化について

ア 民間活力の活用等による地域経済の活性化等をねらいとするいわゆる地域未来投資促進法に定める地域経済牽引事業に対し、本市はどのようなスタンスで臨んでいるのか

(6) 新しい時代に対応できる教師像の実現について

ア 新しい学習指導要領の考え方を踏まえ、本市が求める新しい時代に対応できる教師像とはどのようなものか、また、その実現に向けてどのように取り組んでいくのか

(7) 新しい行政課題などに挑戦する組織風土づくりについて

ア 本市において、時代の変化を的確に読み取り、かつ、改革の熱意を持って新たな行政課題などに果敢に挑戦する組織風土をつくるためには、どのような取り組みが必要か

1 本市の財政状況について

- (1) 本市の財政状況に対する市長の見解はどうか、また、健全な財政運営を行うための取り組みを今後どのように行っていくのか
- (2) 秋田市中・長期財政見通しにおいて、令和5年度から基金への積み戻しがふえると試算した根拠は何か、また、令和9年度に突出した収支不足が生じると試算した根拠は何か

2 中心市街地の活性化について

- (1) これまで第1期秋田市中心市街地活性化基本計画の中で実施してきた個別事業の成果を、第13次秋田市総合計画の将来都市像及び秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標にどのように反映したのか
- (2) 年間を通じた恒常的なにぎわい創出及び集客力のある施設の整備が必要と考えるがどうか、また、それぞれの課題は何か
- (3) エリアなかいちの商業施設における現状及び課題について、どのように認識しているのか、また、課題については、今後どのように対応するのか
- (4) 秋田市民市場の活性化について、どのように考えているのか
- (5) 旧ホテルハワイ駅前店、秋田ニューシティ跡地及びイーホテルショッピングモールの今後の動向について、把握しているのか、また、活用について市も積極的に検討すべきと考えるがどうか

3 秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略等について

- (1) 本市の直近の合計特殊出生率はどうか、また、秋田市人口ビジョンにおいて、2040年に本市の目指すべき将来人口を約26万人としているが、現実的な数値と考えているのか
- (2) 次期総合計画と計画期間を合わせるため、現行の総合戦略の計画期間を1年延長しているが、次期総合戦略の具体的な策定期間はどうか、

また、これまでの成果や課題を次期総合戦略にどのように生かしていくのか

4 イービス・アショアの配備について

- (1) イービス・アショアの配備に関するこれまでの防衛省の一連の対応について、市長はどのように認識しているのか
- (2) 市単独または県・市連携で専門家による検証組織を設置すべきと考えるがどうか
- (3) 市長は、住宅密集地に隣接している新屋演習場が適地と考えているのか

5 環境施策について

(1) 家庭ごみ処理手数料相当額の使途等について

ア 家庭ごみ処理手数料相当額に係る地域振興基金の平成30年度末現在高が1億7,393万3,000円となっていることに対する認識はどうか、また、同基金を今後の環境施策に活用するに当たり、どのような事業を行っていくのか

イ 家庭ごみ減量等対策事業とその他の環境対策事業との間で、予算配分比率はあるのか、また、これまでの事業費の累積では、その他の環境対策事業が家庭ごみ減量等対策事業を上回っており、本来は家庭ごみ減量等対策事業に対し、予算を重点的に配分すべきであったと考えるがどうか

ウ 減量目標である1人1日当たり約480グラムの達成に向けた新たな施策を実施すべきと考えるがどうか

エ これまでの家庭ごみ処理手数料相当額に関する地域振興基金の運用益は、どのくらいあるのか

オ 家庭ごみ処理手数料相当額について、地域振興基金から一般廃棄物処理施設整備基金に移管し一本化を図るべきと考えるがどうか

(2) 温暖化対策について

ア 本市におけるこれまでの温暖化対策の効果と課題について、どの

ように認識しているのか

6 第2次秋田市公共交通政策ビジョンについて

- (1) 各施策や事業について、毎年進捗状況及び成果目標指標の達成度を
確認し、その結果に基づき必要に応じて改善を行うとしているが、こ
れまでどのような改善を行ってきたのか
- (2) 鉄道駅や各地域の市民サービスセンター等を活用し、乗り継ぎの利
便性向上について検討するとしているが、これまでどのような検討を
行ったのか

7 会計年度任用職員制度等について

- (1) 会計年度任用職員制度により、同職員の勤務条件などはどうなるの
か
- (2) フルタイム及びパートタイムでの雇用を予定している職員数はそれ
ぞれどれくらいか
- (3) 現行の非正規職員が、フルタイムからパートタイムで雇用された場
合、正職員の業務負担がふえ、時間外勤務もふえると思うがどうか
- (4) 正職員の時間外勤務を縮減するため、来年度の人員配置をどのよう
に行うのか、また、業務量と比べて職員数が不足すると思うがどうか
- (5) 総務省のマニュアルでは同制度の構築に当たり、職員団体と協議す
ることとしているが、本市では、これまで十分な時間をかけて同団体
と協議を行ったのか

8 子供の疾病予防対策について

- (1) インフルエンザワクチンは感染防止の有効性が低いことから、本市
ではこれまでも接種費の助成は行わないとしているが、一方で症状軽
減の効果が期待できることから、乳幼児及び児童への助成を行うべき
と考えるがどうか

9 高齢者施策について

- (1) これまでの本市における高齢者の自立支援や要介護度の維持・改善の達成状況について、どのように認識しているのか
- (2) 政府が来年度から保険者機能強化推進交付金を倍増するとしたことについて、どのようにとらえているのか、また、本市においても、介護予防に向けた取り組みをこれまでよりも強化すべきと考えるがどうか
- (3) 国は来年度から75歳以上を対象に、フレイル（加齢とともに筋力や認知機能などの心身の活力が低下し、生活機能障害や要介護状態などの危険性が高くなった状態）を把握するための新たな健診を行うとしているが、本市ではどのような体制でこの健診を行うのか、また、高齢者のフレイルに対して、どのような指導を行うのか

1 財政について

- (1) 平成31年度当初予算は、成長戦略事業や人口減少対策を喫緊の最重要課題ととらえ、対前年度比5.3%増の積極予算となったが、令和2年度当初予算編成に向けた基本的な考え方はどうか
- (2) 令和2年度当初予算において、成長戦略に係る新規事業を含め、特徴的なものは何か
- (3) 第7次秋田市行政改革大綱では、中・長期財政見通しに基づく、主要2基金（財政調整基金と減債基金）の残高を一般会計予算規模の5%程度と示しているが、今後も安定的に持続していくことは可能なのか
- (4) 市有財産については、貸し付け及び売り払いにより一定の収入が得られているが、今後の見通しはどうか
- (5) 市税の未収金は多額であり、本市財政圧迫の一因にもなっているが、今後の徴収対策についてどのように取り組んでいくのか

2 地方創生について

- (1) 国は、「地方創生の第1期戦略は効果が十分に表れていない」として、是正策を検討しているが、地方創生は本市にどのような効果をもたらしたのか、また、国の地方創生第2期戦略に期待することは何か
- (2) 秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成度を踏まえて、今後どのような分野に重点的に取り組んでいくのか

3 イージス・アショアの配備について

- (1) 新屋演習場が適地とされた場合、市長はいつ判断を示すのか
- (2) イージス・アショアの配備が、市長選で争点の一つのテーマとなり得るとの考えに変わりはないか

4 農業問題について

- (1) 農地中間管理事業は、スタート時点と比べるとかなり条件も改善されているが、利用件数など現在の進捗状況はどうか
- (2) 生産者の労力を軽減し、他の農業生産や規模拡大を進めるための、秋田市南カントリーエレベーターの進捗状況と支援はどうか
- (3) あきたこまちよりおいしいとされる新ブランド米である秋系821は、予定どおり2022年の市場参入が可能なのか、また、農家とJAの取り組み状況はどうか

5 教育について

(1) 小・中学校の適正配置について

- ア 統廃合が進むと、地域の活力や文化が失われる懸念があるが、その点をどのように考えているのか、また、小規模校であっても魅力ある学校にしていく取り組みも必要と思うがどうか
- イ 統廃合で1学級当たりの人数がふえることも考えられるがどうか、また、よりきめ細かな対応がしやすい学級人数はおよそ20人程度が理想とされているが、その点についての見解はどうか
- ウ 適正配置に当たり、統合ありき、枠組みありきとの声があるが、それらにとらわれることなく、柔軟に対応すべきと思うがどうか、また、廃校舎の利活用も同時に進めていくべきと思うがどうか

(2) いじめ問題について

- ア 本市における小・中・高校のいじめの実態はどうか、また、解決に向けてどのような対策を講じているのか
- イ 新たに子ども未来センターに設置された「子ども家庭総合支援拠点」との、いじめに関する課題解決の連携はどのようにとっているのか

(3) 小・中学校における不登校問題について

- ア 本市の小・中学校における不登校者数の増加の要因とその対応はどうか

6 佐竹史料館の改築について

- (1) 佐竹史料館の収蔵品は、本市の歴史、伝統、文化を集約した歴史的遺産であり、文化遺産の保存・公開の拠点、観光振興やまちづくりの観点からも早期の改築を望むものであるが、今後の改築予定はどのようなになっているのか

7 ジャイアントパンダ誘致について

- (1) パンダ誘致については、国家間の協議が前提となるが、その後の進捗状況はどうか

8 地域課題について

- (1) 多頭飼育対策について

ア 猫による迷惑防止の観点から、周辺環境の悪化を未然に防止するための措置をどのように講じてきたのか、また、多頭飼育への対策を充実させていくべきと考えるがどうか

1 市政運営に対する市長の基本姿勢について

(1) 次期総合計画で目指す本市の姿は何か、また、政治課題は何か

(2) 外旭川地区のまちづくりについて

ア 卸売市場の施設整備（建替等）に係る意向調査の結果をどう受けとめているのか、また、今後の検討にどう生かしていくのか

イ 同調査の結果も踏まえ、卸売市場の余剰地の活用をどう考えているのか

ウ 次期総合計画及び次期総合都市計画に、交流人口や移住者の増加が期待できる外旭川地区のまちづくりのあり方を盛り込む考えはないか

(3) 新スタジアムの整備について

ア 新スタジアム整備構想策定協議会報告書で示された内容について、県と本市が実施した調査・研究の状況及び今後の見通しはどうか

イ 3カ所の候補地以外の検討をすべきと思うがどうか、また、外旭川地区のまちづくりに取り込む考えはないか

2 令和2年度予算編成について

(1) 成長戦略事業の一般財源所要額を42億円と見込んでいるが、どのような施策に重点的に取り組むのか

(2) 令和2年度は、一般財源ベースで、成長戦略事業以外の政策経費を前年度比20%、経常経費を前年度比3%削減するとしているが、市民生活に必要なサービス水準をどのように維持するのか

(3) 消費税率の引き上げに伴う影響により、本市の財政収支にどのような変化が生じているのか

(4) 秋田県国民健康保険団体連合会の交付金の算定誤りに伴う拠出金の精算により、来年度予算に影響はあるのか

3 総合環境センターについて

- (1) 同センターの施設整備計画における計画期間、建てかえの考え方、財源などはどのような内容となるのか
- (2) 同計画に基づいて建てかえや大規模改修を行った場合、一般廃棄物処理施設整備基金でどの程度賄うことができるのか
- (3) 生ごみを減量し、施設の延命化を図るためにも、民間の処理施設における生ごみを活用したバイオガス発電をこれまで以上に支援する考えはないか

4 交通政策について

- (1) 次期総合交通戦略及び次期公共交通政策ビジョンは、どのような方向を目指すのか
- (2) 地域住民との協議により、地域の実情や利用目的に即した交通体系を実現し、公共交通の利用促進を図るべきではないか
- (3) 定額タクシー運賃の導入に関する取り組みについて、市として後押しする考えはないか

5 小・中学校の適正配置と地域活動団体について

- (1) 小・中学校の適正配置について
 - ア 各地域ブロック協議会における協議の状況はどうか、また、地域の反応はどうか
 - イ 適正配置の取り組みにあわせ、学区の見直しを行う考えはないか
- (2) 地域活動団体について
 - ア 地区体育協会、地区社会福祉協議会及び地区市民憲章推進協議会には学区が一致していないケースがあるが、学区割を優先すべきではないか
 - イ 学校の統廃合が進んだ場合の地区体育協会、地区社会福祉協議会及び地区市民憲章推進協議会のあり方をどのように考えているのか

6 生涯スポーツの振興について

- (1) はずむスポーツ都市を宣言し約10年が経過したが、生涯スポーツの

振興に関するこれまでの取り組みと成果についてどのように考えているのか

- (2) 地域に根ざした生涯スポーツの振興をより推進するため、スポーツ推進委員の活動内容等を広く周知すべきと思うがどうか

7 マイナンバーカードを活用した消費活性化策（マイナポイント）について

- (1) 令和2年度に実施予定となっているが、本市の対応状況はどうなっているのか
- (2) マイナンバーカードの取得が必須となるが、交付率向上に向けてどのように対応していくのか

8 古川流域の総合的な治水対策等について

- (1) 国、県、市の三者による、古川流域の総合的な治水対策協議会において、どのような協議が行われているのか
- (2) 自然環境の保全や流下能力向上のため、河道掘削を含めた河川整備は継続的に実施すべきと思うがどうか
- (3) ハード対策は、整備を終え実際に効果があらわれるまで時間を要することから、現時点における水害時の対策として、同流域の浸水地域図や市民の避難に関するマニュアルなどを作成すべきではないか
- (4) 近年、自然災害が多発しているが、地域コミュニティーが実施している防災に関する活動に対してどのように支援していくのか